

特別例会で 発展を誓う

岐阜信金会

岐阜信用金庫本店営業部の取引先企業でつくる岐阜信金会(会長・後藤甲平三甲会長)は16日、特別例会を岐阜市内で開き、会員企業の経営者ら約140人が社業の発展を誓った。

今年3月末時点の会員は161社。毎年1月に新年互礼会を開いているが、昨年と今年は新型コロナウイルスの影響で開催を見送っており、今年は特別例会を



特別例会であいさつする後藤甲平会長＝岐阜市長良福光、都ホテル岐阜長良川

開いた。

後藤会長はあいさつで、コロナ禍で情報が不足する世の中になったとして、「テレビや新聞の情報ではなく、財界トップの話を直接収集してもらいたい。それがこの親睦会の役目だ」と述べた。

来賓代表として出席した同金庫の好岡政宏理事長は「どの企業も事業承継やビジネスマッチングなどの課題を抱えている。わずかなことでも気軽に相談してほしい」と呼びかけた。